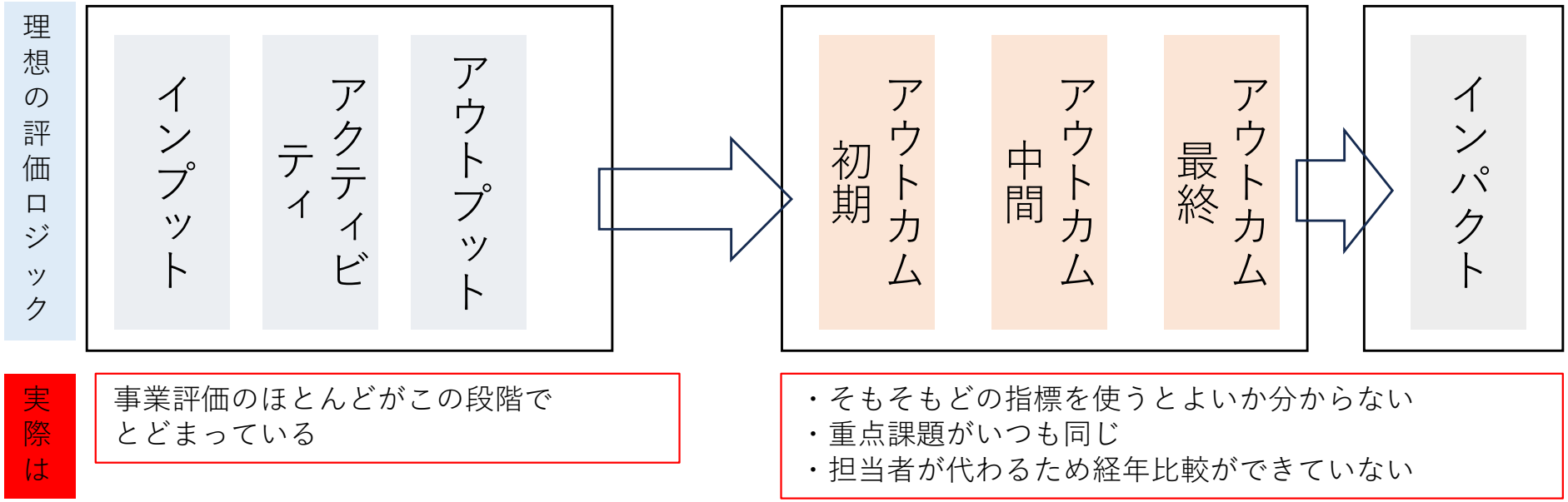
第28回東海北陸厚生局
地域包括ケア推進本部会議　資料２

地域づくり研究としてのインセンティブ交付金指標の活用方法について

朝日大学保健医療学部看護学科
公衆衛生看護学領域
講師　中村　廣隆

市町村担当者が困っていること

- 地域包括ケアシステムの構築をどう評価したら「できた」ことになるの？



{塩見 ら. 保健師が行う地域アセスメントに関する文献レビュー －2005年～2015年の和文論文をもとに－. 兵庫県立大学看護学部・地域ケア開発研究所紀要. 2019; 26:103-15.

【研究として】橋渡し研究的

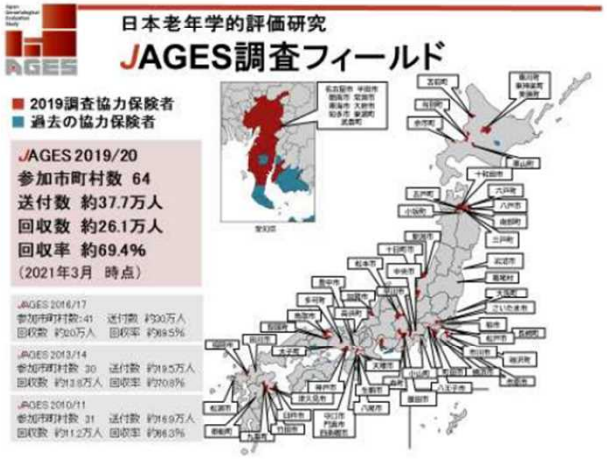
：行政が保有しているデータを活用する方法

：行政・関係機関・住民が課題共有して解決に向けていける力をつける（コミュニティエンパワメント）

インセンティブ交付金の得点は地域包括ケアシステム構築ができたか？を市町村・都道府県が確認するツールの１つとして使えるのか？

日本老年学的評価研究（JAGES）とは

- 介護予防政策に必要な科学的根拠づくりやそれに基づく地域づくりなどに取り組む市町村と研究者による共同研究
- そのために2018年に設立したのが、一般社団法人 日本老年学的評価研究（JAGES）機構
- 3年に1度、介護保険者が行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を共同実施
- そのデータを活用し保険者の地域診断や科学的根拠づくり、国やWHOのEvidence Based Policy Making（EBPM, 根拠に基づく政策形成）に活用



JAGES "健康とくらしの調査"

- JAGES "健康とくらしの調査"
  = 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 + JAGES独自項目 + 自治体独自項目
- "結果"→健康状態，要介護リスク（フレイルなど）
- "原因"→高齢者の健康行動，外出，社会参加状況など
- "結果"に影響を及ぼす基本属性→社会経済的要因（所得，教育など）
- 他市町村比較による強みと課題の抽出
- 強みと課題に関連する要因の探索
- 自治体内でのGood Practice（好事例），重点対象地域の抽出
- JAGESのみでも"原因"と"結果"の分析可能
  →保健・医療・介護データとの結合で更なる深堀分析が可能

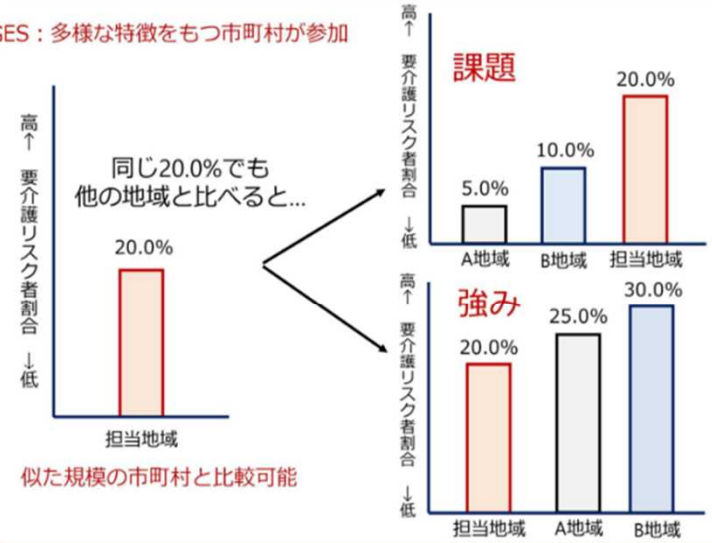
地域診断

2

優先課題と
優先対象地域が
見つかる
【市町村間・市内間比較】

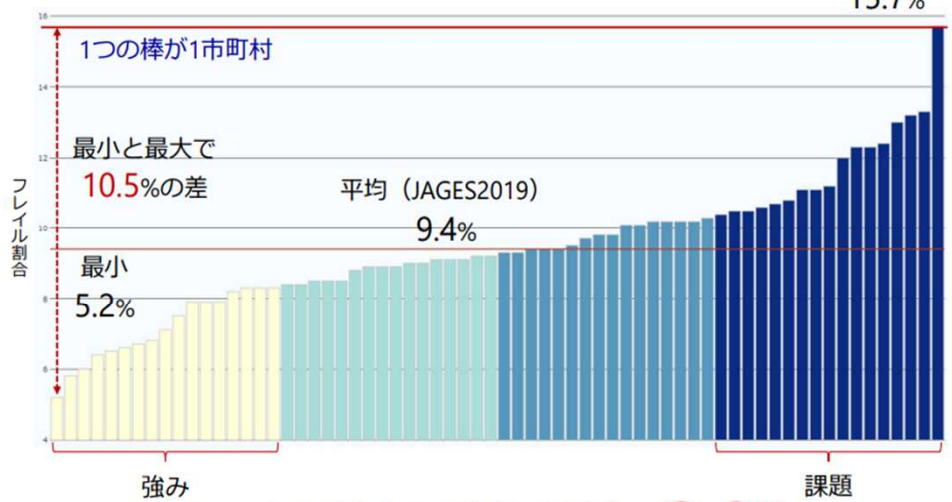
他の地域と比べることが重要

JAGES：多様な特徴をもつ市町村が参加



他市町村比較による強みと課題の抽出

JAGES2019：66市町村



フレイル割合の市町村差は3.0倍

市町村職員向け地域診断研修資料から抜粋

介護予防を進めるための地域診断

- まずは情報を集める。情報とは・・・

量

量的情報

・“見える化”して、比較する
・時系列で観察する

質

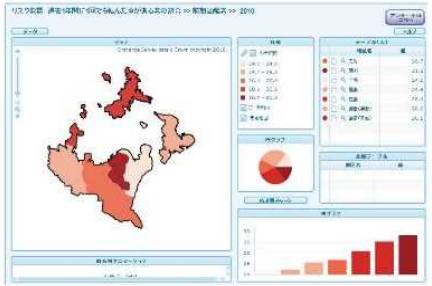
質的情報

・住民からの聞き取り、インタビュー
- ニーズ：住民にとって必要なもの
- 地域資源：“モノ”＋“社会関係”

地域診断から実施までの一連の力を付ける

M市Ａ地区 介護予防事業 「お寄りまっせ」に至る経過

「見える化」による地域診断



地域診断による現状把握・課題抽出

介護リスクも買い物に困っている人も多いのはＡ地区

地域診断結果の共有・意見交換

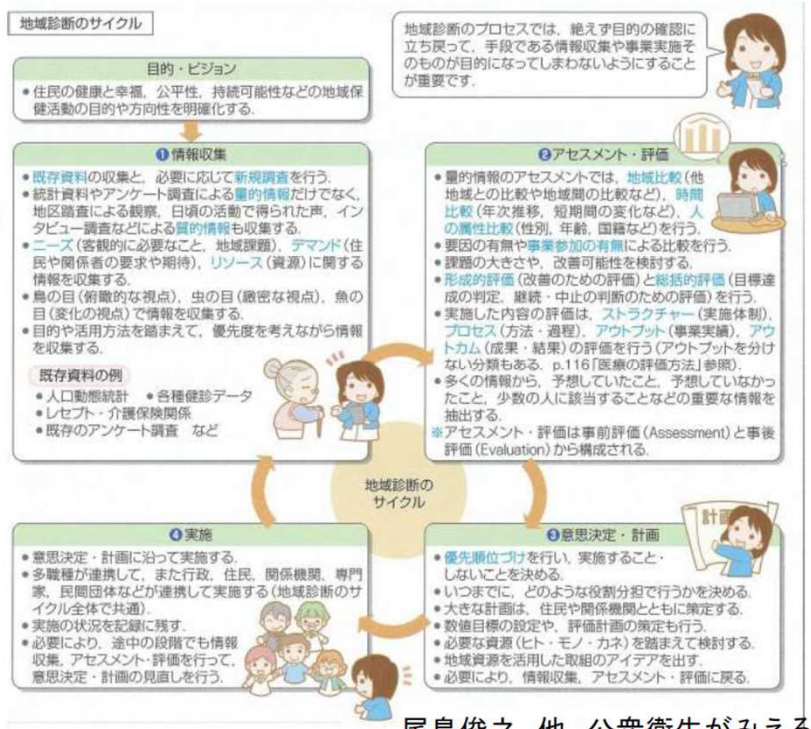
- ●住民（各種団体）参加の報告討論会
- ●地域ケア会議
- ●介護予防サポーター養成講座　　等

重点地区の住民が集まり取組内容の決定

重点地区の公民館に「お寄りまっせ」オープン

移動販売車を誘致して買い物ニーズも満たす

①地域診断←機会の提供
②課題共有
③共通認識の形成
④実施
⑤評価（一緒に）
⑥繰り返し



O：情報収集

A：実施

尾島俊之、他. 公衆衛生がみえる 2024-2025

O：状況認識

D：意思決定

平成30年度　地域包括ケア研究会 報告書　概要版
https://www.murc.jp/sp/1509/houkatsu/houkatsu_01.html

評価

通いの場参加者は健康になっているのか？どのような内容を展開していくとよいのか？

評価への取組み（スマイルポイント事業の効果）

（2016年調査＋SP事業参加者名簿＋2017年追加調査より）中間報告

- 高齢者が家で閉じこもることなく、地域の中で様々な交流を行ない、介護予防活動やボランティア活動にも参加できるよう応援することを目的とした事業
- 社会福祉協議会が運営。高齢者が社協の認定した場所に行く、活動に参加するとポイントが付与され、一定ポイントで商品券と交換できる

約１年後

ベースライン
健康とくらしの調査
2016年
（約12000人）
※悉皆調査※

連結

2016年10月から
スマイルポイント事業名簿
（社会福祉協議会）
約2,000名

750名抽出

追跡調査　2017年11月
SP参加群
（637名）
回収率：84.9%

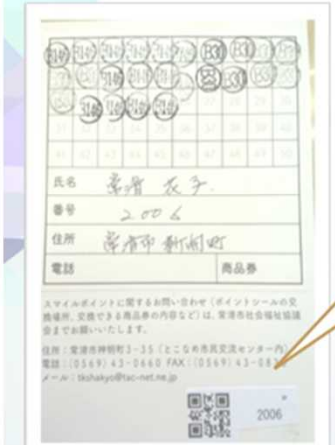
VS

無作為抽出で750名を追跡

非参加群
（645名）
回収率：86.0%

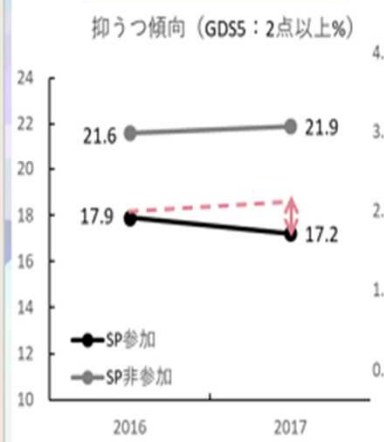
スマイルポイント QRコード読み取り

参加記録のデータ化を容易にする試み

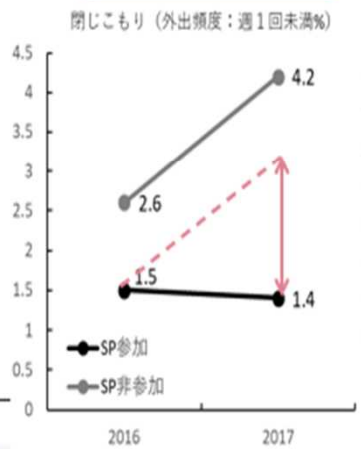


結果：スマイルポイント事業１年後の評価
（うつ傾向、閉じこもり防止、笑いの頻度等に効果あり）

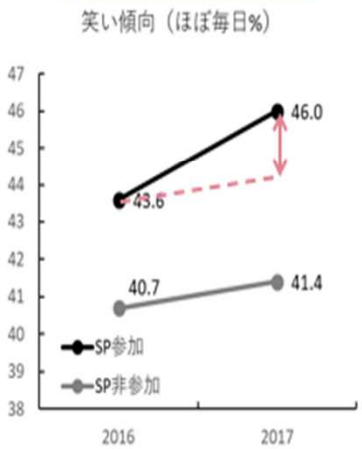
うつ傾向



閉じこもり



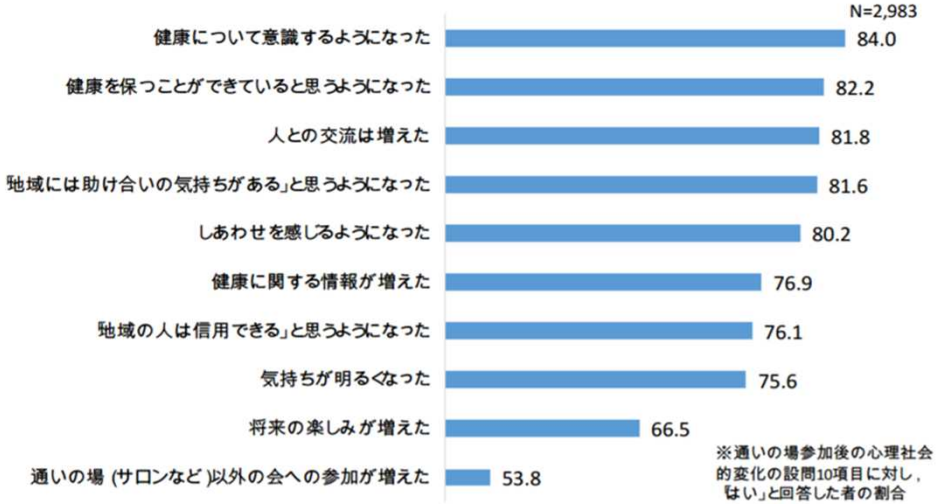
ほぼ毎日笑う



スマイルポイント事業参加者（637名）と非参加者（645名）を、健康と暮らしの調査2016と1年後の調査で比較

高齢者の心理社会的な変化

分析対象：JAGES参加7市町の通いの場109箇所の参加者3,305人のうち2,983人（回収率90.3％）



厚生労働科学研究費補助金（H27-認知症―般 001）平成 28年度総括・分担研究報告書、p56

例：努力支援交付金の目標Ⅰ―2　アウトリーチ等の取り組み状況

市町村によって取組む内容が異なってくる

■令和６年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金（市町村分）評価指標に係る該当状況調査票集計表（推進＋支援）

				配点	養老町	垂井町	関ヶ原町	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	御嵩町	白川村	神戸町	輪之内町	安八町	揖斐川町	大野町	池田町	瑞穂市	巣市	北方町	静岡県
					21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	2	21	21	21	21	21		21	1	21	
目標Ⅰ-（i）体制・取組指標群	1	データを活用した課題の把握	ア：介護予防のケアプランや要介護認定の調査票等を確認している	1						川辺町			白川町							揖斐川町			瑞穂市			0.89
			イ：ＫＤＢや見える化システム等既存のデータベースやシステムを活用している	1						川辺町			白川町			白川								巣市		1.0
			ウ：毎年度、ア又はイのデータを活用して課題の分析を行っている	2				坂祝町		川辺町	七宗町		白川町			白川					大野町		瑞穂市	巣市	北方町	1.7
			エ：データに基づく課題分析等の結果を施策の改善・見直し等に活用している	2	養老町	垂井町		坂祝町		川辺町	七宗町	八百津町	白川町			白川					大野町		瑞穂市	巣市		1.6
	2	アウトリーチ等の取組状況	ア：通いの場への参加促進を図るための課題を把握・分析している	1							七宗町												瑞穂市			1.0
			イ：通いの場に参加していない者の健康状態や生活状況、医療や介護サービスの利用状況等を定量的に把握し、データとして整理している	2		垂井町			富加町	川辺町	七宗町					白川							瑞穂市	巣市		1.4
			ウ：具体的なアプローチ　①通いの場に参加していない者の居宅等へのアウトリーチに関する取組	1	養老町	垂井町	関ヶ原町		富加町	川辺町	七宗町					白川							瑞穂市	巣市		0.86
			②医療機関等が通いの場等への参加を促す仕組みの構築	1	養老町	垂井町		坂祝町	富加町	川辺町	七宗町		白川町	東白川村	御嵩町	白川							瑞穂市	巣市		0.60
			③介護予防に資する取組やボランティアへの参加に対するポイント付与の実施	1	養老町	垂井町					七宗町	八百津町		東白川村		白川							瑞穂市			0.77
			④③のポイント事業参加者の健康状態等のデータベース化	1	養老町	垂井町	関ヶ原町	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村		白川	神戸町	輪之内町	安八町	揖斐川町	大野町	池田町	瑞穂市	巣市	北方町	0.29
			エ：ウの取組の成果を分析し、取組の改善・見直し等を行っている	2	養老町	垂井町	関ヶ原町	坂祝町		川辺町	七宗町		白川町	東白川村		白川							瑞穂市	巣市		1.3
			ア：通いの場に参加 … 栄養指導・口腔ケア等を実施している	1								八百津町				白川							瑞穂市	巣市		1.0
	3	介護予防等と保健事業の一体的実施	イ：通いの場での健 … の結果を踏まえて医療機関等による早期介入（個別支援）につなげる仕組みを	2	養老町	垂井町				川辺町		八百津町				白川							瑞穂市	巣市	北方町	1.3
			ウ：現役世代の生活 … 介護予防とが連携した取組を実施している	2		垂井町				川辺町	七宗町	八百津町			御嵩町	白川							瑞穂市	巣市		1.5
			エ：一体的実施の成 … 取組の改善・見直し等を行っている	2		垂井町		坂祝町			七宗町	八百津町	白川町		御嵩町	白川村					大野町		瑞穂市	巣市	北方町	1.5
	4	通いの健康							富加町				白川町		御嵩町											
									富加町	川辺町	七宗町		白川町		御嵩町	白川村										
								坂祝町	富加町	川辺町	七宗町		白川町		御嵩町											
	5	地域リハビリテーションの推進	に活用し、リハビリテーションに関する目標を市町村介護保険事業計画に設定している	1	養老町		関ヶ原町	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町		白川町			白川村										
			イ：郡市区医師会等の関係団体と連携して協議の場を設置し、介護予防の場や介護事業所にリハビリテーション専門職等が関与する仕組みを設けている	2			関ヶ原町	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町					白川村										
			ウ：リハビリテーション専門職を含む医療専門職を介護予防の場や地域ケア会議等に安定的に派遣するための具体的な内容を議論するなど、イの協議の場を活用している	2	養老町		関ヶ原町	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町			東白川村		白川村										
			エ：取組内容の成果を分析し、改善・見直し等を行っている	2	養老町		関ヶ原町	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町		白川町	東白川村		白川村										
			ア：地域における介護予防・生活支援サービス等の提供状況、地域資源、利用者数の推移、心身及び生活状況の傾向、高齢者の地域の担い手としての参画状況等を把握し、データとして整理している	1							七宗町	八百津町		東白川村		白川村										
			イ：アで整理したデータを、地域住民や関係団体等に提供・説明している	2						川辺町	七宗町	八百津町		東白川村		白川村							瑞穂市		北方町	1.7

					静岡市	浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市	伊東市	島田市	富士市	磐田市	焼津市	掛川市	藤枝市	御殿場市	袋井市	下田市	裾野市	湖西市	伊豆市
					22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
目標Ⅰ-（i）体制・取組指標群	1	データを活用した課題の把握	ア：介護予防のケアプランや要介護認定の調査票等を確認している	1		浜松市			三島市											下田市			
			イ：ＫＤＢや見える化システム等既存のデータベースやシステムを活用している	1																			
			ウ：毎年度、ア又はイのデータを活用して課題の分析を行っている	2														御殿場市					
			エ：データに基づく課題分析等の結果を施策の改善・見直し等に活用している	2														御殿場市					
	2	アウトリーチ等の取組状況	ア：通いの場への参加促進を図るための課題を把握・分析している	1																			
			イ：通いの場に参加していない者の健康状態や生活状況、医療や介護サービスの利用状況等を定量的に把握し、データとして整理している	2		浜松市						島田市	富士市	磐田市						下田市			
			ウ：具体的なアプローチ　①通いの場に参加していない者の居宅等へのアウトリーチに関する取組	1		浜松市							富士市							下田市			
			②医療機関等が通いの場等への参加を促す仕組みの構築	1				熱海市			伊東市	島田市	富士市				藤枝市	御殿場市			裾野市		
			③介護予防に資する取組やボランティアへの参加に対するポイント付与の実施	1			沼津市	熱海市													裾野市		伊豆市
			④③のポイント事業参加者の健康状態等のデータベース化	1		浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市			富士市	磐田市	焼津市		藤枝市	御殿場市		下田市	裾野市		伊豆市
			エ：ウの取組の成果を分析し、取組の改善・見直し等を行っている	2		浜松市						島田市	富士市					御殿場市		下田市			
			ア：通いの場に参加 … 栄養指導・口腔ケア等を実施している	1																			
	3	介護予防等と保健事業の一体的実施	イ：通いの場での健 … の結果を踏まえて医療機関等による早期介入（個別支援）につなげる仕組みを	2				熱海市	三島市											下田市	裾野市		
			ウ：現役世代の生活 … 介護予防とが連携した取組を実施している	2		浜松市					伊東市												
			エ：一体的実施の成 … 取組の改善・見直し等を行っている	2																下田市			
	4	通いの健康																					
	5	地域リハビリテーションの推進	に活用し、リハビリテーションに関する目標を市町村介護保険事業計画に設定している	1																			
			イ：郡市区医師会等の関係団体と連携して協議の場を設置し、介護予防の場や介護事業所にリハビリテーション専門職等が関与する仕組みを設けている	2																			
			ウ：リハビリテーション専門職を含む医療専門職を介護予防の場や地域ケア会議等に安定的に派遣するための具体的な内容を議論するなど、イの協議の場を活用している	2																			
			エ：取組内容の成果を分析し、改善・見直し等を行っている	2																			
			ア：地域における介護予防・生活支援サービス等の提供状況、地域資源、利用者数の推移、心身及び生活状況の傾向、高齢者の地域の担い手としての参画状況等を把握し、データとして整理している	1																			
			イ：アで整理したデータを、地域住民や関係団体等に提供・説明している	2								島田市											

細項目の得点状況から市町村の優先課題が分かる

【状況の判断】
目標Ⅰのアウトリーチ等の取り組み状況
・安八町は得点が獲得できているが、さらに伸ばすとしたら「ポイント事業参加者の健康状態をデータベース化できる」とよい。
・一方で瑞穂市は、「通いの場への参加促進を図るための課題分析」から始めないといけない。